

令和8年度の佐呂間中学校は

「中学校は、大人になる練習をするところ」であることを大人も子どもも深く認識することで、「自分のことは自分で」から「みんなのために自ら動く」人を育てます。

中学校生活は、卒業後の進路を含め「理想の大人像」を描かせながら、その実現のために何をすべきかを保護者・生徒と教師が一緒に考え行動する3年間です。

すべての教職員が高い同僚性のもと生き生きと教育を語る学校にこそ、生き生きと夢を語る子供が育ちます。保護者・地域・関係機関との対話を大切に、人と人との心をつなぐ学校をつくります。

重点目標

1 自ら問い、互いに伝えあう学習指導

- ・「具体的に書くこと」の改善を目指し、学校生活全体で「具体的に丁寧に話す」ことを指導
- ・一人一授業の公開から授業改革を目指す、校内研修の推進
- ・ICT利活用促進による、学びの質の向上
- ・学習規律、家庭学習の定着



2 繋がり・支え・創る「さろま学」

- ・ふるさとを愛し、かかわりつづける「さろまっ子」の育成
- ・自ら課題を発見し、他者と協働して解決する力の育成
- ・相手意識、目的意識を持った発信
- ・情報活用能力の育成

3 しなやかに「社会を拓く」生徒指導

- ・生徒の挑戦に教師が伴走する活動づくり
- ・自立と自律を促す学校生活づくり
- ・伝えあい認め合う集団づくり
- ・ユニバーサルデザインの推奨
- ・特別支援に関する知識と技術の習得

佐中生が「大人になる練習」をするために、学校は「社会の場」であることを意識して生活させたいと考えています。
大人としての振舞や他者との協働、自立・自律を目指します。



4 支えあい、学びあう「チーム佐中」

- ・チームでの業務推進
- ・率先垂範の励行
- ・「対話の時間」の確保
- ・部活動地域展開の推進

生徒や保護者・地域のみなさんとゆっくりお話しする時間をなかなか確保できないことが悩みお種です。働き方改革や部活動地域移行の推進で、対話の時間を生み出したいと考えています。
ご理解とご協力をお願いします。



5 学びと成長を支える地域連携

- ・佐呂間町学校運営協議会の活性化
- ・人的・物的資源の活用
- ・パーマ姉妹都市交流